

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	創造デザイン	
科目基礎情報							
科目番号	51223			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	特に指定しない／適宜参考作品、資料等を開覧、配布						
担当教員	野田 利也						
到達目標							
(ア)形が正確にとれている。(静物デッサン) (イ)質感が表現できている。(静物デッサン) (ウ)個々のモチーフとそれぞれの関係が、1つの空間に存在する立体として捉えられている。(静物デッサン) (エ)モチーフに対する観察が作品に表現されている。(静物デッサン) (オ)画面構成がバランス良く出来ている。(静物デッサン) (カ)発想が豊かである。(構成) (キ)画面の構図あるいは立体の構成が理解できている。(構成) (ク)表現力が豊かである。(構成) (ケ)作品の仕上精度が高い。(構成)							
ルーブリック							
	最低限の到達レベルの目安(可)						
評価項目(ア)	形が正確にとれている。(静物デッサン)						
評価項目(イ)	質感が表現できている。(静物デッサン)						
評価項目(ウ)	個々のモチーフとそれぞれの関係が、1つの空間に存在する立体として捉えられている。(静物デッサン)						
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築という領域は、科学と芸術を中心として、幅広い分野にまたがる知識と技術が必要とする領域である。本科目では、その基本となるモノづくりの楽しさを学ぶと共に、描写力というデザインを行なっていく上で必要な基本的能力を高め、さらに構成力、表現力、発想力を養うことを目的とする。前半は、設定されたモノとそれを取り巻く空間を観察し描写するデッサンを中心とした課題とし、観察力と描写力を身につける。後半は平面構成と立体構成の課題により、2次元あるいは3次元での構成力を養うと共に、豊かな発想力を身につける。						
授業の進め方・方法							
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス（静物デッサン課題）、課題説明、デッサンについての講義・実演ビデオ				
		2週	静物デッサン練習（石膏幾何立体）				
		3週	静物デッサン1、2（石膏幾何立体、ワインボトル）				
		4週	静物デッサン1、2（石膏幾何立体、ワインボトル）				
		5週	静物デッサン3、4（静物組み合わせ）				
		6週	静物デッサン3、4（静物組み合わせ）				
		7週	静物デッサン5（静物組み合わせ）、講評会				
		8週	静物デッサン5（静物組み合わせ）、講評会				
	4thQ	9週	ガイダンス（構成課題）、課題説明、紙の立体化と描写				
		10週	平面構成基礎1（雑誌等の写真の切り抜				
		11週	平面構成基礎2（ポスターカラーによる平面構成）				
		12週	平面構成基礎3（様々な素材、表現手段を用いて平面構成）				
		13週	平面構成基礎3（様々な素材、表現手段を用いて平面構成）				
		14週	立体造形（立方体による構成）				
		15週	発想について講義				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	課題		課題		合計		
総合評価割合		50	50		100		
基礎的能力		50	50		100		